

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 11 日	
佐賀県知事 山口 祥義 殿	
提出者 住 所 佐賀県佐賀市久保田町大字徳万1647番地 氏 名 株式会社 丸福建設 代表取締役 田中 利允 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 9 5 2 - 6 8 - 2 2 1 5	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 2 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 丸福建設
事 業 場 の 所 在 地	佐賀県佐賀市久保田町大字徳万1647番地
計 画 期 間	令和 8年 4月 1日 から 令和 9年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	0 6 総合工事業
② 事 業 の 規 模	1 1 8, 4 0 0 万円
③ 従 業 員 数	3 6 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） ・現場で購入した仮設材等で今後利用できるものは、持ち帰り再使用する。 ・現場での加工等を減らし、産業廃棄物の発生を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物の発生抑制を考慮した工法や資材を採用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・コンクリート殻、アスコン殻、木くず、紙くず、金属くず、汚泥等分別できるものはなるべく分別し、100%再利用を目標に行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・今後も、コンクリート殻、アスコン殻、木くず、紙くず、金属くず、汚泥等分別できるものはなるべく分別し、100%再利用を目標に行っている。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 特になし		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八 (第八条の四の五関係別紙)
(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状	【前年度（令和7年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	排 出 量	0.715 t	10.640 t	0.000 t	110.130 t	0.000 t	13.340 t	3.600 t	1484.471 t	50.605 t	2.400 t	1675.901 t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	排 出 量	2.000 t	50.000 t	3.000 t	100.000 t	2.000 t	10.000 t	2.000 t	1150.000 t	10.000 t	1.000 t	1330.000 t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
①現状	【前年度（令和7年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t

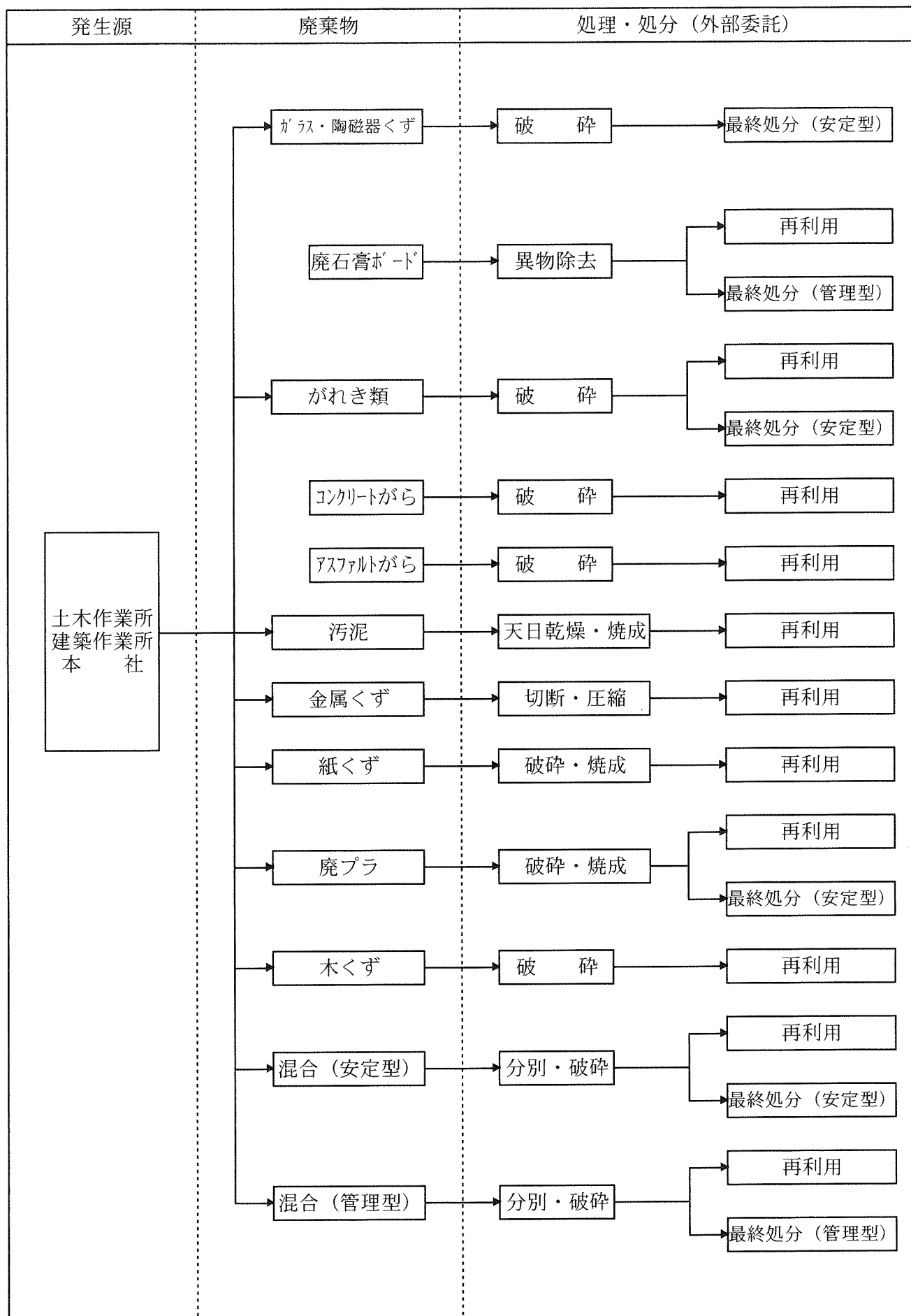
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石棉含有産業廃棄物	計				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t

様式第二号の八 (第八条の四の五関係別紙)
(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	計					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	計					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	計					
	全処理委託量	0.715 t	10.640 t	0.000 t	110.130 t	0.000 t	13.340 t	3.600 t	1484.471 t	50.605 t	2.400 t	1675.901 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	計					
	全処理委託量	2.000 t	50.000 t	3.000 t	100.000 t	2.000 t	10.000 t	2.000 t	1150.000 t	10.000 t	1.000 t	1330.000 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.000 t	50.000 t	1.000 t	10.000 t	0.000 t	0.000 t	2.000 t	20.000 t	5.000 t	0.000 t	90.000 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t

廃棄物の処理工程



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画

管理体制図（責任者及び管理組織）

統括責任者		所属：本社 職・氏名：代表取締役・田中 利允
廃棄物担当		組織名：品質環境安全部
役割	環境対策委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進等必要な事項の検討。 ・委員長：社長・委員：関連部署課長以上 ・委員：関連部署課長以上 ・事務局：本社 品質環境安全部
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理
	廃棄物管理担当責任者	○廃棄物処理計画に作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再利用業者の調査、選定及び管理、委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項
本社 代表取締役 環境対策委員会 品質環境安全部 (廃棄物管理担当) 総務・経理部 土木部 作業所 建築部 作業所		